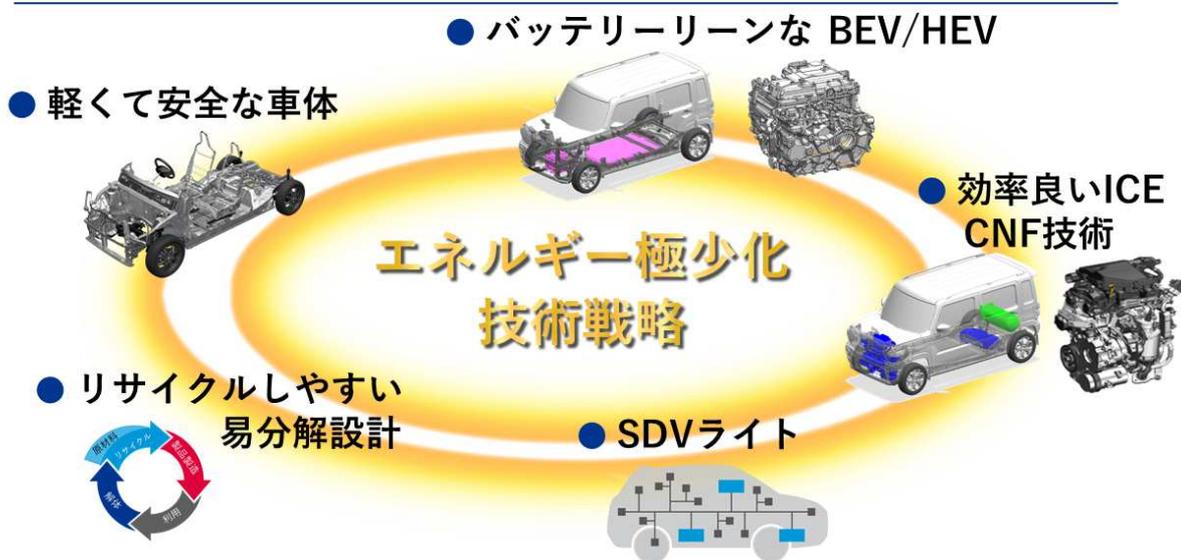


スズキ、10年先を見据えた技術戦略を発表

スズキは製造からリサイクルまで「エネルギーを極少化させる技術」を実現し、世界中の人々に移動する喜びをご提供しつつ、カーボンニュートラルな世界を目指します。

エネルギー極少化に向けた技術戦略2024



● 軽くて安全な車体

スズキが得意とする小さく軽いクルマは、走行時のCO₂排出量が少ないだけでなく、製造に必要な資源や製造で排出するCO₂も少なくでき、省資源やCO₂削減に貢献してきました。

安全で軽量の「HEARTECT（ハーテクト）」を更に進化させ、軽量化技術によるエネルギーの極少化に取り組んでいきます。

● バッテリーリーンな BEV/HEV (Battery Electric Vehicle/Hybrid Electric Vehicle)

スズキは国や地域の再生可能エネルギー化の状況、お客様の使用状況に合わせ、最もエネルギー効率が良い選択となる「適所適材な電動車をお客様にお届けする」ことを目指し、小さく効率が良い電動ユニット、小さく軽い電池など「小・少・軽・短・美」を体現し、エネルギーを極少化した電動車を開発していきます。

●効率良い ICE、CNF 技術 (ICE : Internal Combustion Engine、CNF : Carbon Neutral Fuel)

2023 年、内燃機関の根幹となる燃焼を追求した高効率エンジン (Z12E 型エンジン) を開発し、最大熱効率 40% を達成しました。今後はこの高効率エンジン技術を全展開するとともに、カーボンニュートラル燃料対応や、次世代ハイブリッドによるエネルギー極少化を実現します。

●SDV ライト (SDV : Software Defined Vehicle)

スズキは、SDV についても「小・少・軽・短・美」によるエネルギー極少化を具現化したアフォーダブルな仕組みでクルマの価値を創造する「SDV ライト」を開発し、お客様にご提供していきます。ソフトウェア更新は有線と無線 (OTA) をベストミックスし、より使いやすいものにします。また、ハードウェアを共有して部品費を抑え、ソフトウェアを再利用して開発費を抑えるなど、「これでいい、これがいい」とお客様に感じていただける SDV を目指します。

●リサイクルしやすい易分解設計

これまでのリニアエコノミー (直線型経済) では、原材料採掘から製造・利用・廃棄の流れが一方向で、エネルギーの大量消費、資源の枯渇、環境破壊を引き起こしてきました。

スズキは今後、リサイクルや再利用を前提にした分解しやすい製品設計を行うことで、資源の総使用量を抑制し、エネルギー極少化によるサーキュラーエコノミー (循環型経済) を実現します。

以上